

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公表番号】特表2013-502227(P2013-502227A)

【公表日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2012-525737(P2012-525737)

【国際特許分類】

C 1 2 G 3/02 (2006.01)

C 1 2 C 5/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

【F I】

C 1 2 G 3/02 1 1 9 A

C 1 2 C 5/02

C 1 2 G 3/02

A 6 1 P 25/32

A 6 1 K 31/045

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

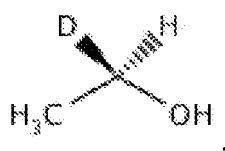
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

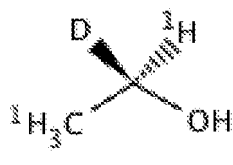
水とエタノールとを含むアルコール飲料であって、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式：



の重水素化アルコールであり、各々の H が独立であり、水素又は重水素にでき、該飲料がヒトでの摂取に好適なことを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式：

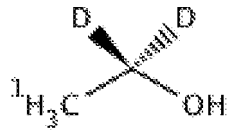


の重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパ

ーセントが式：



の重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式：



の重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式 $C D_3 C D_2 O H$ の重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 15 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 30 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 50 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 9】

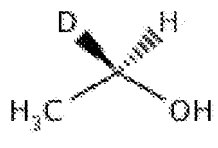
請求項 8 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 75 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のアルコール飲料において、前記エタノールのうち少なくとも 95 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 11】

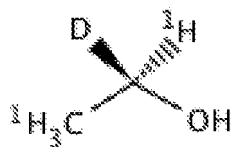
請求項 1 に記載のアルコール飲料を生成する方法であって、式：



の重水素化アルコールを飲料に添加するステップを具え、各々の H が独立であり、水素又は重水素にできることを特徴とする方法。

【請求項 12】

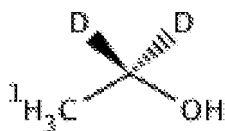
請求項 11 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が：



であることを特徴とする方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が：



であることを特徴とする方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 1 に記載の方法において、前記重水素化アルコールが式が：



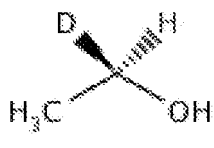
であることを特徴とする方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 1 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が $\text{CD}_3\text{CD}_2\text{OH}$ であることを特徴とする方法。

【請求項 1 6】

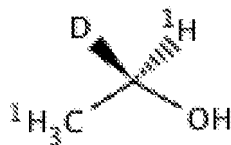
医薬品有効成分とエタノールとを含む医薬組成物であって、前記エタノールのうちの少なくとも 5 モルパーセントが式：



の重水素化アルコールであり、各々の H が独立であり、水素又は重水素にできることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 6 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式：

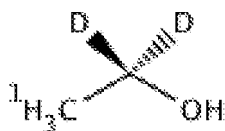


の重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 1 8】

請求項 1 6 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパー

セントが式：



の重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 19】

請求項 16 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式：



の重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 20】

請求項 16 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが式 $\text{CD}_3\text{CD}_2\text{OH}$ の重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 21】

請求項 16 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 15 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 22】

請求項 21 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 30 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 23】

請求項 22 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 50 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 24】

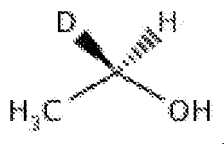
請求項 23 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 75 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 25】

請求項 24 に記載の医薬組成物において、前記エタノールのうち少なくとも 95 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 26】

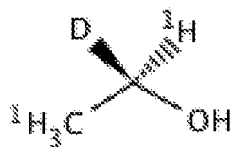
請求項 16 に記載の医薬組成物を生成する方法であって、医薬品有効成分を式：



の重水素化アルコールと組成物を生成するのに十分な量で組合わせるステップを具え、各々の H が独立であり水素又は重水素にでき、前記組成物中の前記エタノールのうち少なくとも 5 モルパーセントが前記重水素化アルコールであることを特徴とする方法。

【請求項 27】

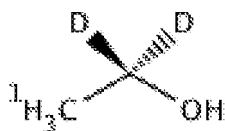
請求項 26 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が：



であることを特徴とする方法。

【請求項 28】

請求項 26 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が：



であることを特徴とする方法。

【請求項 29】

請求項 26 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が：



であることを特徴とする方法。

【請求項 30】

請求項 26 に記載の方法において、前記重水素化アルコールの式が $C D_3 C D_2 O H$ であることを特徴とする方法。

【請求項 31】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、その組成のうち 0.25 ないし 60 重量パーセントがエタノールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 32】

請求項 1 に記載のアルコール飲料において、その組成のうち 1 ないし 40 重量パーセントがエタノールであることを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 33】

請求項 1、31、又は 32 のうちのいずれか 1 項に記載のアルコール飲料が、当該アルコール飲料に好適な添加成分を更に含むことを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 34】

請求項 33 に記載のアルコール飲料が、甘味料を更に含むことを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 35】

請求項 33 に記載のアルコール飲料が、匂い物質を更に含むことを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 36】

請求項 33 に記載のアルコール飲料が、香味料を更に含むことを特徴とするアルコール飲料。

【請求項 37】

請求項 33 に記載のアルコール飲料が、醸造組成物若しくは発酵組成物由来の同類物を更に含むことを特徴とするアルコール飲料。